

10月11日 **金** 発売
新刊のご案内

ご注文は JRC へ
FAX 03 - 3294 - 2177

「大東亜戦争の記憶」を綴る手記集の第4集

境界 BORDER vol.4 忘るまじあの日

構成 安木由美子

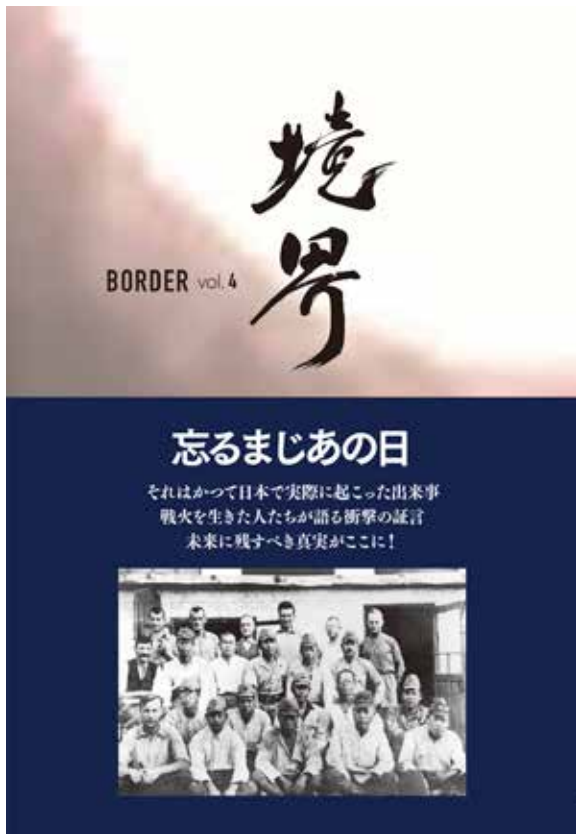
四六判・小口折（フランス製本）

本文 246 頁

定価：1,980 円（1,800 円＋税）

ISBN 978-4-911042-06-9

C コード 0095



「境界 BORDER」シリーズは、国家同士における相容れぬナショナリズムの境界、その諍いから生じた生と死を分けた境界、戦前・戦中・戦後という時代の境界を赤裸々に綴る戦争体験者の手記集です。第3集まで23人の手記と特別寄稿「戦争花嫁」を収録しましたが、第4集で新たに7人の手記と、シベリア抑留についての特別寄稿が加わります。

編集部より

「境界 BORDER」シリーズの第1集が出版されたのは2022(令和4)年2月。3年半の月日が流れる中で「境界 BORDER」シリーズの理念“不戦不争”は自らが意思を宿して枝葉を伸ばすかのように静かに広がり続けてきました。

2022(令和4)年8月には第1集出版記念の講演会「大東亜戦争の記憶」を東京・赤坂の乃木神社尚武館道場で開催。続いて2023(令和5)年7月と2024(令和6)年7月に2年続けて日比谷カレッジ「境界 戦争体験者の証言」を日比谷図書文化館で開催しました。

戦前・戦中の日本を語れる人が少なくなってきました。来年(2025年)は終戦から80年という節目の年です。「境界 BORDER」シリーズに綴られた“大東亜戦争の記憶”は未来に生きる人たちに託すメッセージでもあります。本書はルビ(ふりがな)を多用した丁寧な編集に努めました。

児童から生徒、学生まで若い世代にも読んでいただきたい本です。

※本書の題字は満州からの過酷な引き揚げを体験された俳優の宝田明さんの直筆文字です。

番線印	ご担当	ご注文	発行：ユニコ舎
	冊		境界 BORDER vol.4 忘るまじあの日 定価：本体 1,980 円（本体 1,800 円＋税） [新刊] 978-4-911042-06-9 四六判／フランス製本／246 頁（本体）

※株式会社 JRC 経由で、すべての取次への出荷が可能です。返品は長期に承ります。